

1. 等高線チェック

メニュー「チェック／等高線チェック」に「等高線の端点での標高が異なる」を追加しました。

等高線チェック

インデックスファイル(等高線の分類コードを参照)

選択

チェック項目(1)

- 異なる標高を持つ等高線
- 標高値に端数がある計曲線・主曲線
- 等高線が取り得る標高値以外
- 等高線の種類に対する等高線の間隔
- 標高値が0.0の等高線
- 標高値が-999.0以下の等高線
- 範囲外の標高値

最高標高値 700.0 m以上
 最低標高値 -10.0 m以下

- 等高線の分岐
- 等高線の端点間の隙間
 - 隙間の最小値(m) 0.0
 - 隙間の最大値(m) 1.0
 - 相手の等高線と接続する
- 水平方向の角度
 - 角度 45.0° 以下
- 間断区分が異なる隣接
- 他の要素と交わらない陰線
 - 注記との交差は対象外
 - 閉じている場合は対象外
- 点列の順序(TIN参照)
 - 点列の順序を反転する
- 標高値(隣接関係でTIN参照)
- 等高線の端点での標高値が異なる

OKリストCSV| 指定...

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く ヘルプ

チェック項目(2)

- 他の3D要素との重複
 - 間断区分=1の等高線は対象外
- 端点と等高線以外の要素との隙間
 - 隙間の最小値 0.01 m
 - 隙間の最大値 0.1 m
 - 図郭線も対象にする
- 等高線が通るべきところ
 - 等高線以外の3次元の面と線
 - 分類コードで指定 選択...
 - 等高線とのずれ許容値(XY) 0.1 m
- 真幅道路で切れている等高線
 - リストアップのみ
 - 等高線(間断区分=1)作...
 - 等高線の最大長(m) 5.0

処理

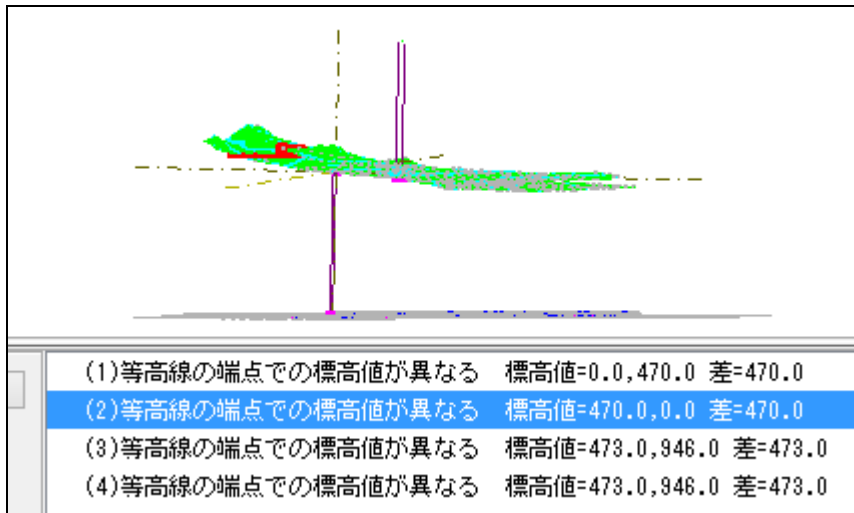
- 等高線を同一XYZ座標の端点で接続する
- 該当する等高線を削除する

オプション

- ファイル別に並べ替えてリスト表示
- レポートパネル出力

等高線の端点での標高値が異なる

等高線が端点で接している場合、同じ標高値かをチェックします。標高値が異なる場合、リストアップします。



上図は、等高線のZ値が0.0になってしまっている例です。

このチェックは、2017/03/03 に追加しました。